

令和7年6月定例会行政報告

1. 一般行政報告

- 1) 要望等について
- 2) 寄贈金品について
- 3) 作況状況及び公共牧場、各牧野の入牧状況について
- 4) 中標津空港の利用促進について
- 5) 学校法人岩谷学園について
- 6) 令和7年度建設工事の発注状況について

令和7年6月16日

中 標 津 町

貴重な時間をお借り致しまして、3月定例会以後の行政報告を申し上げます。

1. 要望等について

第1点目は、要望等についてであります。

- 1) 最初に、北方領土隣接地域 振興対策 根室管内市町連絡協議会としての要請活動であります。

ロシアによるウクライナ侵攻以降、日露関係は極めて厳しい状況が続いており、戦後80年を迎える中で、事態の長期化とともに北方領土問題への関心が薄れていくことが懸念されます。

この状況を打開するため、5月13日、石破 内閣総理大臣、鳩山 内閣府副大臣、宮路 外務副大臣、古川 国土交通副大臣を訪問し、ウクライナ情勢の一日も早い収束、そして、平和条約締結交渉の再開に最大限努めていただくとともに、「北方墓参をはじめとする北方四島交流等事業の早期再開」、また、「再開までの、洋上慰霊実施と「えとぴりか」の有効活用」、「国内外世論の喚起と後継者育成などの返還要求運動の推進」、「隣接地域における啓発機能と振興対策の充実・強化」などについて要望致しました。

- 2) 次に、北海道道路整備促進協会としての要望活動であります。

北海道の道路を取り巻く環境は、高規格道路におけるミッシングリンクをはじめ、自然災害に伴う交通障害や道路施設の老朽化など多くの課題を抱えていることから、5月14日、国土交通省及び地元

選出国會議員に対し、「資材価格高騰や賃金水準が上昇する中でも、必要な道路整備や除排雪を含む維持管理を長期安定的に進めるための予算確保」、また、「国土強靱化の推進に必要な予算・財源を通常とは別枠で確保すること」などについて要請致しました。

3) 次に、北海道自治体病院開設者協議会としての要請活動であります。

5月20日から22日にかけて、厚生労働省、総務省及び道内選出国會議員に対し、「地域医療の充実に関する要望」として、医師の不足や地域偏在の解消に向けた対策、看護師をはじめとする医療従事者の確保対策、周産期医療及び救急医療の体制整備、へき地医療の充実など、地域の実情に応じた実効性のある対策について要請致しました。

また、一般会計からの繰入金によって、地域の医療提供体制を維持している自治体病院においても、経営の安定化を図るために、確実に支援が行き届くよう、「病床数適正化支援事業」に係る十分な予算の確保などについて要望致しました。

4) 次に、北海道高速道路建設促進期成会としての要請活動であります。

6月3日に、「北海道の高規格道路整備促進に関する要望」として、国土交通省及び地元選出国會議員に対し、人流・物流を支える道路ネットワークの整備、また、自然災害への備えや緊急搬送などの地域医療を支えるためにも強靱な道路の構築が必要なことから、道路関係予算の拡大と所要額の満額確保などについて要望致しました。

5) 次に、医師確保に係る要請活動であります。

4月10日から11日にかけて、道内各医育大学等に対し、町立中標津病院の現状及び診療体制の報告、地域医療が抱える課題等について意見交換を行うとともに、地域医療の確保をはじめ地域センター病院としての診療科の確保を図るため、医師の継続派遣について要請を行ったところであります。

2. 寄贈金品について

次に、2点目は、寄贈金品についてであります。

お手元に配付のとおり、3月定例会後に、

物品で	7件	
現金で	2件	3,100,000円
ふるさと納税で	999件	16,086,500円

の寄贈がございました。

寄贈金品を寄せられました方々に、改めて深く感謝を申し上げます。

3. 作況状況及び公共牧場、各牧野の入牧状況について

次に、3点目の作況状況及び公共牧場、各牧野の入牧状況についてであります。

6月1日現在、根室農業改良普及センター発表の、農作物生育状況調査によりますと、牧草は、平均気温及び日照時間が平年を上回った

ことから生育は順調で、平年より3日程成長が早まっております。

牧草以外の作物につきましては、5月中旬以降の降雨の影響を受け、てん菜の移植作業と馬鈴薯の植付作業、飼料用トウモロコシの播種作業につきまして、それぞれ、平年より5日程度遅く作業を終了しております。

その他、大根の播種、ブロッコリーの定植につきましては、6月5日時点では、概ね平年通りとなっており、作業は順調に進んでいるとのことであります。

今後の天候ですが、札幌管区気象台発表の3か月予報によりますと、天気は数日の周期で変わり、気温は平年より高くなる予報となっております。育成管理に苦慮することが予想されますが、農作物が順調に生育し、豊穰の秋が迎えられることを願うものでございます。

次に、公共牧場及び各牧野の入牧状況であります。

まず、町営の開陽台牧場への入牧でございますが、本年は5月23日、26日の2日間を中心に合計840頭が入牧しました。

また、各牧野におきましても、順次入牧を行っておりまして、JA計根別及び町内4牧野の入牧頭数は、1,300頭程度になると報告を受けております。

放牧期間中におきましては、家畜保健衛生所の指導の下、予防検査を実施し、適切な牧野衛生に努め、事故のない牧場運営を心がけてまいります。

次に、生乳生産についてでございますが、生乳生産抑制が解除されたことから、令和6年度の本町の生乳生産量は22万8,400tで、令和5年度の21万6,100tと比較し、1万2,300t、率にして5.7%の増と

なりました。

今年度につきましても、全道生乳生産目標が前年並みに設定されており、後継牛の確保を行いながら、目標数量が確保されることを期待しております。

4. 中標津空港の利用促進について

次に、4点目の中標津空港の利用促進についてであります。

令和6年度の中標津空港の利用状況でございますが、北海道エアシステムが就航して1年半が経過し、定期便が年間通して3路線となった昨年度の搭乗者数は21万7千人と、対前年比113%となりました。

定期便のみで乗客数が20万人を超えたのは18年ぶりとなり、観光やビジネス需要の増加による利用者数の伸びが現れています。

路線別では、東京線の利用者数は前年より5,500人増の8万2千人で、搭乗率は6ポイント増の69%、新千歳線の利用者数は、前年より3,600人減の9万8千人で、搭乗率は2ポイント減の62%、丘珠線の利用者数は、前年より2万4千人増の3万7千人で、搭乗率は0.2ポイント増の57%でした。

以上、定期便3路線の利用者合計は、前年度より2万6千人増で、搭乗率は0.4ポイント増の63%でした。

定期便以外では、フジドリームエアラインズのチャーター便が8月に2便就航予定でしたが、残念ながら悪天候により2便とも欠航となり利用実績にはつながりませんでした。

今後におきましても、ビジネス需要と併せ、旺盛な訪日需要と国内観光の需要が伸び、人流の増加が見込めること。また、札幌圏域との

利便性をPRし、一層の利用促進・旅客需要の喚起に取り組んでまいります。

5. 学校法人岩谷学園について

次に、5点目の学校法人岩谷学園についてであります

本年3月、岩谷学園ひがし北海道日本語学校の第2期生31名が卒業しました。卒業生の多くが国内の大学や専門学校に進学する中、2名が町内企業に就職し、本町に住み続ける選択をしてくれました。本町の生活環境に加え、アルバイトの経験や町民との触れ合いなどが決め手になったと伺っております。

日本語学校の卒業生としては初めてのことであり、産業の担い手確保という視点では大きな一歩と言えます。今後も、町民や町内事業者に対し、人口減少時代を迎える中で外国人材が産業を支える力になり得ることへの理解醸成に努めるとともに、卒業生の進路の選択肢に本町が選ばれるよう、取り組みを続けてまいります。

さて、今年度の各校の入学者につきましては、4期目を迎えた日本語学校には8か国54名が入学しました。2年生34名を加えますと88名となり、順調に定員充足に近づいております。

また、2期目を迎えたIT専門学校では、今年度から外国人留学生の受け入れが開始され、日本も加えると12か国29名が入学しました。

入学者数は昨年度から大幅に増加しましたが、新設校の評判が定着し選ばれる学校になるには、充実した教育環境に加え卒業後の就職実績などが必要と考えます。留学生の入学により、多様な文化に彩られる同校の特色が認知されるとともに、今年度初めて卒業生を輩出する

同校から域内への就職が実現し、地域に根付いた学校となるよう、学園や関係団体と連携した取り組みを続けてまいります。

6. 令和7年度建設工事の発注状況について

次に、6点目の令和7年度建設工事の発注状況についてであります
が、令和7年6月4日現在でご報告申し上げます。

令和7年度の発注計画は、件数159件、金額にしまして、
37億4,311万円ほどであります。

これに対し、発注状況ですが、件数で78件、率にしまして、49%と
なっております。

金額では、26億7,627万円、率にしまして、72%の発注となってい
るところであります。

以上、6点についてご報告申し上げ、一般行政報告といたします。